



真庭市 中和地区に ついて

真庭市北部の中和地区（旧中和村）は、里山と田んぼが広がる、自然豊かなエリアです。中和の子どもたちが日々大切にしているのは「ありがとうのつながり」です。魚も動物も、草木も人も、すべての命（いのち）は「ありがとう」でつながっています。みんなひとりではないし、ひとりぼっちでは生きていきません。新しく来た人も笑顔で迎えるこの地域には、自然農や食、木工など、自ら「つくる暮らし」を実践する移住者も増えています。

中和いきいき サポーターズ 倶楽部

中和いきいきサポーターズ倶楽部は、「中和の子どもを元気に」「中和地域を元気に」を合言葉に、地域住民が2016年に立ち上げた組織です。幅広い年齢層の地域住民がボランティア活動や講師派遣、社会教育などを通して、「学校を核とした地域づくり」に取り組んでいます。同倶楽部の「いきいき学習プロジェクトチーム」には、地域住民のほか教職経験者も加わり、中和いきいき学習科を中心とした教育活動の支援を行っています。

真庭市立 中和保育園

1歳児から就学前の5歳児までが通う中和保育園は、豊かな自然や地域の人と関わる中で、子どもたちの心が動く体験を大切にしています。園から一歩出れば、山や川、畑があり、みどり坂を越えれば、中和小学校まで歩いていくことができます。小学校ではお兄さん、お姉さんたちと交流を行い、秋には園と小学校が合同で運動会を開催します。また、「森あそびの日」という愛称で、自由にのびのびと里山で遊ぶ「自然保育」にも取り組んでいます。

まにわ 里山留学

「山村留学」とは、自然ゆたかな農山村や漁村に、都市部の小・中学生が1年単位で移り住み、地元の小・中学校に通う仕組みです。真庭市ではこの「山村留学」を「まにわ里山留学」と呼び、中和地区では短期・中期・長期の3つのコースを用意しています。長期コースは1年間ホームステイをして中和小学校に通い、新しい友だちと出会い、ともに遊び、学びます。週末には様々な体験活動を通して、里山の暮らしと命（いのち）の大切さを体感します。



お問い合わせ

真庭市立中和小学校

〒717-0513 岡山県真庭市蒜山下和 1965
TEL 0867-67-2232 FAX 0867-67-7007
chuhka_es@maniwa.gse.okayama-c.ed.jp

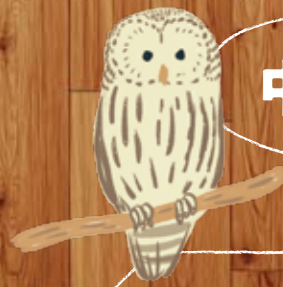


教育課程特例校

中和ちゅうが小学校

中和小学校は、木の温もりある校舎で、中和神社に隣接しています。小規模校の特色を生かしながら、子どもたちの主体性や対話を重視した教育を行い、異年齢同士学び合いを大切にしています。2019年度には、真庭市初のコミュニティ・スクールとなり、「地域とともにある学校づくり」に取り組んできました。2023年度には、文部科学省から教育課程特例校の指定を受け、新たに「中和いきいき学習科」を設置。地域と学校が協働しながら「主体的・対話的で深い学び」を実践しています。

真庭市教育委員会



中和いきいき学習科とは

教育課程特例校とは、学校や地域の特色を生かした独自の教育課程を編成して子どもたちの教育を実施することができる制度です。本制度により、中和小学校では、生活科と総合的な学習の時間（中和いきいき学習）を統合し、「中和いきいき学習科」を設置しました。



目標

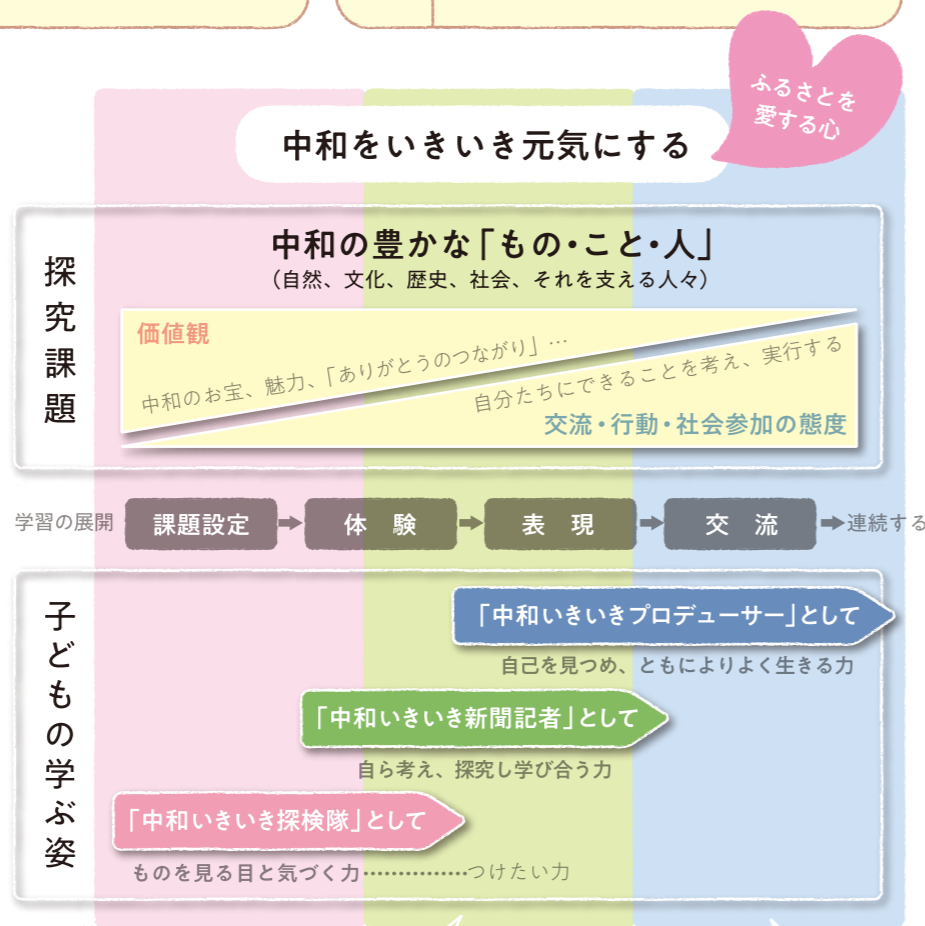
- 探究的・協働的な学習を通して「ものを見る目と気づく力」「自ら考え、探究し学び合う力」「自己を見つめ、ともにによりよく生きる力」を育成します。
- 地域の未来を自分たちで考え、切り開く意欲と能力、ふるさとを愛する心をもった児童を育成します。

内容

- 中和の豊かな「もの・こと・人」に関わる体験をし、その魅力や課題を整理・分析することを通して、地域をいきいき元気にするために自分たちにできることを探究します。

中和いきいき学習科の全体構造

中和いきいき学習科は、すべての学年において、『中和をいきいき元気にすること』を目的としています。児童が中和の豊かな『もの・こと・人』を対象に探究するため、具体的な探究課題を定めていないのが特徴です。低学年は「中和いきいき探検隊」、中学年は「中和いきいき新聞記者」、高学年は「中和いきいきプロデューサー」として探究活動（探究学習）を展開します。探究活動は、課題設定→体験→表現→交流という一連のスパイラルで行います。その過程において、発達段階に応じた子どもにつけたい力を育成するとともに、ふるさとを愛する心を養っていきます。



低学年



中学年



高学年

学び合う授業

中和いきいき学習科を支えるもの

1 主体的学び 「めあて」と「ふりかえり」

中和小学校では児童の主体性を育むために、あらゆる教育活動において「めあて」と「ふりかえり」を行っています。「めあて」は教師と共に見いだす学習課題に対して自分は何を目標にどのような態度で向き合うのか、「ふりかえり」は「めあて」をどの程度達成できたのかを自分の言葉で表現し、アウトプットする活動です。

2 対話的学び 4つの対話アイテム

中和小学校では「学び合う授業」を大切にします。学び合いの基盤である「対話する力」を育むために「4つの対話アイテム」(わからないことを「おたすね」し、友だちの「いいところ見つけ」をし、友だちの考えを「おたすけ」しながら、「自分の考え」を広げ、深める)があり、あらゆる教育活動において日々実践しています。

3 協働的な学び 地域の人々との交流

探究活動の目的は「中和をいきいき元気にすること」ですが、これは地域住民の願いとも一致しています。子どもたちの活動に地域住民の協力は欠かせません。子どもたちは地域の人と対話し、自分たちにできることを考え、実行します。その成果は、保護者や地域の皆さんを学校に招いて発表し、地域の未来をともに語り合い、交流します。

